平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名　荒川化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4968　URL　http://www.arakawachem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 谷奥　勝三
問合せ先責任者　(役職名) 取締役業務統轄部長　(氏名) 延廣　徹　TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,512	5.4	837	134.0	1,030	196.4	628	507.7
25年3月期第1四半期	16,612	△8.5	358	△56.9	347	△60.3	103	△77.2

(注) 包括利益　26年3月期第1四半期　1,569百万円　(73.2%)　25年3月期第1四半期　906百万円　(6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	31.23	―
25年3月期第1四半期	5.14	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	77,139	41,487	52.0
25年3月期	78,372	40,109	49.6

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　40,098百万円　25年3月期　38,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	11.50	―	11.50	23.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		12.00	―	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,500	6.6	1,300	68.4	1,500	117.3	800	567.3	39.72
通期	75,000	10.6	2,400	27.7	2,500	29.2	1,300	32.3	64.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有
新規 ―社 （社名） 、 除外 1社 （社名） 梧州荒川化学工業有限公司
(注)詳細は、添付資料3ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	20,150,400 株	25年3月期	20,150,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	11,886 株	25年3月期	11,846 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	20,138,534 株	25年3月期1Q	20,138,634 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間の世界経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念や欧州経済の低迷などにより、弱い成長に留まりました。また、国内経済はデフレ脱却に向けた金融緩和政策に期待が寄せられ、株高・円安が進み、個人消費や輸出・生産の増加、輸出採算の改善などの兆候がみられました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、今年度よりスタートしました第３次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。また、為替変動にともなう原材料価格の上昇に対応した製品価格の改定や、経費削減の実施に努めてまいりました。利益面では海外での収益拡大などにより、前年同期を上回る利益となりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は175億12百万円（前年同期比5.4％増）、営業利益は８億37百万円（同134.0％増）、経常利益は為替差益の影響もあり、10億30百万円（同196.4％増）、四半期純利益は６億28百万円（同507.7％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

＜製紙薬品事業＞

国内製紙業界は、印刷・情報用紙や段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売が堅調に推移しました。また、台湾、中国における拡販も寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は46億99百万円(前年同期比9.1％増)、セグメント利益は２億22百万円(同5.5％増)となりました。

＜化成品事業＞

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂の販売が堅調に推移しました。また、粘着・接着剤用樹脂の輸出が伸張し、売上高は96億65百万円(前年同期比4.7％増)となりました。セグメント利益は、超淡色ロジン製造設備の減価償却費減少や円安効果もあり、前年同期の損失から黒字転換し３億95百万円(前年同期はセグメント損失14百万円)となりました。

＜電子材料事業＞

電子工業業界は、薄型テレビやノートパソコンの需要低迷が続くなか、スマートフォンが好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、タブレット端末への移行により、ノートパソコン向けの製品が振るわない一方で、スマートフォン向けの製品が伸びました。主要製品では光硬化型樹脂が堅調、電子材料用配合製品が好調に推移し、売上高は30億79百万円(前年同期比2.4％増)、セグメント利益は48百万円(前年同期はセグメント損失５百万円)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億32百万円減少し、771億39百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が４億63百万円、たな卸資産が９億11百万円それぞれ減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26億10百万円減少し、356億51百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が８億39百万円、短期借入金が10億31百万円減少したことによります。

純資産は、利益剰余金及び、為替換算調整勘定等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ13億78百万円増加し、414億87百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、下記のとおり、平成25年５月７日に公表しました平成26年３月期第２四半期（累計）連結業績予想を修正いたします。

なお、通期連結業績予想につきましては、為替の変動や原材料価格の動向など不透明な要因が多いことから、現時点では予想を修正しておりません。修正が必要となった場合は、速やかにお知らせいたします。

平成26年３月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	35,500	950	1,050	550	27.31
今回修正予想（B）	35,500	1,300	1,500	800	39.72
増減額（B－A）	0	350	450	250	―
増減率（%）	0.0	36.8	42.9	45.5	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成25年３月期第２四半期累計）	33,311	771	690	119	5.95

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった梧州荒川化学工業有限公司は、当社の連結子会社である広西梧州荒川化学工業有限公司に吸収合併されたため、消滅いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,993	6,530
受取手形及び売掛金	27,121	27,147
商品及び製品	7,216	6,917
仕掛品	907	1,153
原材料及び貯蔵品	6,862	6,003
繰延税金資産	778	569
その他	886	847
貸倒引当金	△131	△141
流動資産合計	50,636	49,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,123	8,079
機械装置及び運搬具（純額）	7,907	7,893
土地	4,710	4,720
建設仮勘定	286	380
その他（純額）	353	347
有形固定資産合計	21,381	21,421
無形固定資産		
のれん	162	155
その他	615	616
無形固定資産合計	777	772
投資その他の資産		
投資有価証券	4,783	5,127
繰延税金資産	217	211
その他	580	583
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,577	5,918
固定資産合計	27,735	28,112
資産合計	78,372	77,139

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,478	11,638
短期借入金	11,581	10,550
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	288	170
未払消費税等	329	140
賞与引当金	870	485
役員賞与引当金	38	10
修繕引当金	113	10
設備関係支払手形	43	105
その他	3,081	3,096
流動負債合計	33,825	31,208
固定負債		
長期借入金	1,825	1,712
繰延税金負債	470	638
退職給付引当金	1,783	1,707
資産除去債務	86	86
その他	270	299
固定負債合計	4,437	4,443
負債合計	38,262	35,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	31,585	31,982
自己株式	△11	△11
株主資本合計	38,052	38,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,089	1,303
為替換算調整勘定	△253	345
その他の包括利益累計額合計	836	1,649
新株予約権	－	27
少数株主持分	1,220	1,362
純資産合計	40,109	41,487
負債純資産合計	78,372	77,139

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	16,612	17,512
売上原価	13,547	13,815
売上総利益	3,064	3,696
販売費及び一般管理費	2,706	2,858
営業利益	358	837
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	42	44
不動産賃貸料	29	29
為替差益	－	136
その他	34	67
営業外収益合計	108	279
営業外費用		
支払利息	77	62
持分法による投資損失	－	1
為替差損	28	－
その他	12	23
営業外費用合計	118	87
経常利益	347	1,030
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	2	2
投資有価証券評価損	148	－
特別損失合計	151	2
税金等調整前四半期純利益	196	1,028
法人税、住民税及び事業税	64	108
法人税等調整額	15	259
法人税等合計	79	367
少数株主損益調整前四半期純利益	116	661
少数株主利益	13	32
四半期純利益	103	628

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	116	661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	214
為替換算調整勘定	948	689
持分法適用会社に対する持分相当額	－	5
その他の包括利益合計	789	908
四半期包括利益	906	1,569
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	810	1,441
少数株主に係る四半期包括利益	95	128

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期連結累計期間(自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間(自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,307	9,232	3,007	16,547	64	16,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	17	―	17	7	25
計	4,307	9,250	3,007	16,565	72	16,637
セグメント利益又は損失(△)	211	△14	△5	191	△2	189

（注） 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	191
「その他」の区分の損失(△)	△2
全社費用の配賦差額(注)１	223
営業外損益(注)２	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	358

（注）１ 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

２ 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,699	9,665	3,079	17,445	66	17,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	24	―	24	6	30
計	4,699	9,689	3,079	17,469	73	17,542
セグメント利益又は損失(△)	222	395	48	666	△2	664

(注)　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	666
「その他」の区分の損失(△)	△2
全社費用の配賦差額(注)１	219
営業外損益(注)２	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	837

(注)　１　全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
　　２　営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

４　報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、事業セグメント区分方法を見直し、従来の「化成品」と「電子材料」に所属する一部製品（機能性ファインケミカル製品等）の報告セグメントを変更しております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「製紙薬品事業」……　サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等

「化成品事業」　……　印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、超淡色ロジン、機能性ファインケミカル製品等

「電子材料事業」……　光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および洗浄装置等